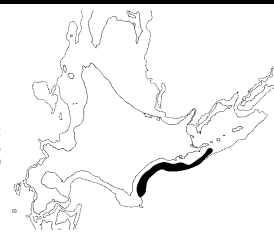
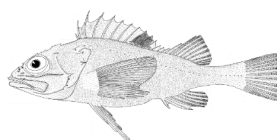


# 30.キチジ

## 道東太平洋海域

主な漁業と漁期  
 沖合底びき網：9～翌5月  
 えびこぎ網：3～12月  
 刺し網：周年



### 生態

#### ◆分布・回遊

大陸棚斜面の水深150～1,200mに分布し、特に水深200～600mの水深帯に多く分布しています。比較的浅い海域では若齢魚の割合が高くなっています。短期的には大きな回遊は行わず、根付性が強いとされていますが、数年単位では移動することが知られています。

#### ◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は3～5月で、盛期は3～4月です。
  - ◎産卵場は襟裳岬沖・釧路沖・落石沖の山状の地形の周辺（水深400～850m）です。
- ※卵は浮遊性の卵塊として産み出されます。

#### ◆成長・成熟

(4月時点)

	体長(cm)	体重(g)
1歳	6	6
2歳	10	25
3歳	13	60
4歳	16	100
5歳	18	150

\*) 漁津・服部(2002～2006)  
 \*) 加齢の基準日：4月1日

#### ◎成熟年齢・体長

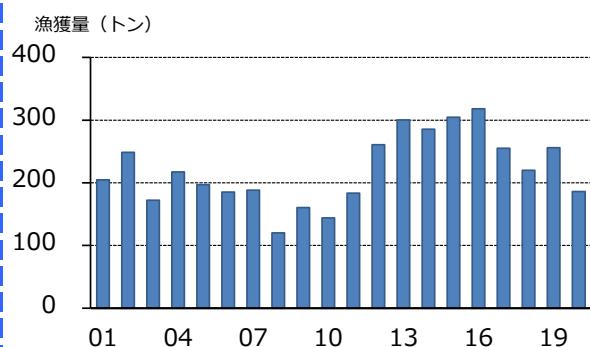
- ・オス：3～4歳から成熟する個体がみられ、体長20～21cm以上で半数以上が成熟します。
- ・メス：3～5歳、体長16cmから成熟する個体がみられ、6歳以上、体長26～27cm以上で半数以上が成熟します。

### 資源評価

[評価年] 1月～12月

[来遊水準の指標] 漁獲量

2020年度の漁獲量は186トンと、前年から減少しました。2020年度の当海域への来遊水準は、中水準と判断されました。本資源については評価海域外にも広く分布していることが想定され、資源全体の状況について把握することが困難なことから、翌年にかけての来遊動向は不明とされました。



2020年度の水準 中水準

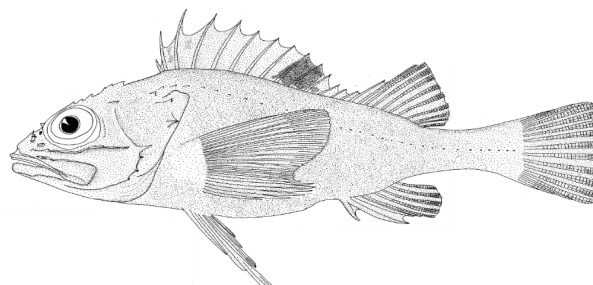
2021年度の動向 不明

※道総研が受託している国の資源評価調査のデータも利用して評価しています。

### 資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

許可の制限条件、漁業権行使規則等で操業期間、漁具の制限等を定めています。



☆またがり資源のため、来遊状況を注視し、持続的に資源を利用していくことが重要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
 北海道立総合研究機構 釧路水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
 電話 0154-23-6222